



ヨルダン・ハシメット王国

Hashemite Kingdom of Jordan

2007年7月現在



一般事情

- 1.面積 8.9万平方キロメートル(日本の約4分の1)
- 2.人口 535万人(2005年)
- 3.首都 アンマン(Amman)
- 4.言語 アラビア語(英語も通用)
- 5.宗教 イスラム教 93%、キリスト教等 7%
- 6.国祭日 5月25日(独立記念日)
- 8.通貨 ヨルダン・ディナール(JD)
為替レート 1JD = 約1.41米ドル = 約162円(2006年)
補助通貨単位 1,000フィル = FIL/S
- 9.査証(ビザ) 査証手数料相互免除協定(1997年発効)
- 10.在留邦人数 約232人(2005年10月現在)
- 11.在日当該国人数 約180人(2006年7月現在)
- 12.電源 - V - Hz
- 13.国際電話 国番号 962 国際通話コード 0
- 14.シガレット 小売価格 0.99 US\$ (20本当り)
税率 58.9%
製造数量 4,100 (百万本/年)
シガレットメーカー

MC Tobacco International, Inc.
European Tobacco Co. (Jordan)
International Tobacco & Cigarette Co Ltd
Jordan Tobacco & Cigarette Co Ltd
JT International Jordan Ltd
Japan Tobacco

7.略史

7世紀よりイスラム諸王朝の支配を受け、16世紀からはオスマントルコの支配下に入る。

年	略史
1919年	英の委任統治領となる
1923年	トランス・ヨルダン王国建国
1946年	トランス・ヨルダン王国として独立
1950年	ヨルダン・ハシメット王国と改称

16.在外大使館・領事館

在ヨルダン日本国大使館
Embassy of Japan in Jordan
郵便:P.O. Box 2835, Amman 11181, The Hashemite Kingdom of Jordan
Tel: +962-6-593-2005 Fax: +962-6-593-1006

17.駐日大使館・領事館

ヨルダン・ハシメット王国大使館
Embassy of the Hashemite Kingdom of Jordan in Japan
〒100-0014 千代田区永田町2丁目17-8 千代田ハウス4階
電話: 03-3580-5856

政治体制・内政

- 1.政体 立憲(世襲)君主制、元首は国王
- 2.元首 アブドラー・ビン・フセイン(Abdullah II bin Al-Hussein) 国王(1999年即位)
- 3.議会 二院制、上院55名、下院110名(女性議員6名)
- 4.政府 首相 マルーフ・アル・バヒート(H.E. Dr. Marouf Al Bakhet)
外相 アブドゥル・イラーヒ・アル・ハティーブ(Mr. Abdel Elah Al-Khatib)
- 5.内政 人口の約7割以上を占めるといわれるパレスチナ系住民を抱えており、これらのパレスチナ人を体制内に取り込み国内の不安定要因を除去すること及び安定的な経済発展の達成を図ることが内政の基本。

外交・国防

- 1.外交基本方針 アラブ・イスラム諸国との協調、全方位等距離外交の推進を基調。和平プロセスに前向きであり、1994年10月イスラエルとの平和条約に署名し、11月外交関係を樹立(アラブ諸国ではエジプトに次いで2番目)。
- 2.軍勢力(ミリタリーバランス2005・2006)
 - (1)国防費 9.56億ドル
 - (2)兵役 志願制
 - (3)兵力 100,500人(陸軍85,000人、海軍500人、空軍15,000人)

経済(単位 米ドル)

1.主要産業	製造業、運輸・通信業、金融業
2.GDP	128.78億米ドル(2005年)
3.一人当たりGDP	2,326ドル(2005年)
4.経済成長率	6.4%(2006年)
5.物価上昇率	6.3%(2006年)
6.失業率	13.9%(2006年)
7.総貿易額	(1)輸出 43.1億ドル(2005年) (2)輸入 93.3億ドル(2005年)
8.貿易品目	(1)輸出 衣料品、燐鉱石、カリ、化学肥料、医薬品 (2)輸入 原油、自動車・車両、機械類、電気機器
9.貿易相手国	(1)輸出 米、イラク、インド、サウジアラビア、シリア、UAE、イスラエル (2)輸入 サウジアラビア、中国、独、米、エジプト、イタリア、韓国、日本 ヨルダン・ディナール(JD)
10.通貨	
11.為替レート	1JD = 約1.41米ドル = 約162円(2006年)
12.経済概況	

ヨルダン経済は、1990年代以来IMFと協調して進めてきた経済構造改革プログラム(2004年7月終了)を通じたマクロ経済・財政運営面での改革の成果に加え、国際石油価格高騰により潤う湾岸諸国からの投機的資金の流入等により、イラク戦争による様々な悪影響にもかかわらず、近年では平均で5%を超える高い経済成長を実現している。

一方で、国家財政及び国内経済の見通しは国際石油価格等の高騰により悪化しており、財政及び経常収支赤字は急速に拡大し、都市・地方間の所得格差、高い水準で推移する貧困率・失業率、多額の公的債務残高など構造的な問題を抱え、依然として外国からの資金援助、地域の治安情勢、外国からの短期的な資本流入の動向等に左右されやすい脆弱性がある。

13.対外債務残高	73.3億ドル(2006年)
-----------	----------------

経済協力

1.我が国の援助実績

我が国は地域の平和と安定や和平プロセスにおけるヨルダンの重要性等に鑑み、これまで同国に対して積極的な経済支援を実施してきている。従来より、技術協力、無償資金協力、円借款と、各種形態により援助を実施しており、これまでの二国間援助累計額においては、中東地域ではエジプトに次いで第2位の被援助

(2004年度までの累計)

(1)有償資金協力 2,044.25億円(交換公文ベース)

(2)無償資金協力 520.40億円(交換公文ベース)

(3)技術協力 245.60億円(JICA経費ベース)

2.主要援助国

(1)米国(2)日本(3)ドイツ(4)イタリア(5)カナダ(2005年)

1999年のアブドゥラー国王来日時に3年間で4億ドルの経済支援パッケージを実施。

2002年6月のアブドゥラー国王来日時に総額約37億円の無償資金協力を実施。

2003年3月、イラク戦争勃発時に総額1億ドルの無償資金協力を表明。

2004年12月、アブドゥラー国王来日時に総額3600万ドル(40億円)の無償資金協力を表明・実施。

2006年7月、小泉総理のヨルダン訪問時に1,200万ドルのノンプロジェクト無償資金協力を表明。

二国間関係

1.政治関係

(1)1954年国交樹立。我が国は1974年大使館を設置。先方も同年在京大使館を設置。

(2)皇室・王室間の伝統的友好関係を含め、極めて良好な関係を維持。アブドゥラー国王陛下は8回の訪日歴を有する親日家。

2.経済関係

ヨルダンにとって、日本は第8位の輸入先で第14位の輸出先(2006年)

(1)対日貿易

(イ)品目

対日輸入 機械機器、輸送機械

対日輸出 燐鉱石、カリ肥料

(ロ)貿易額(2006年)

対日輸入 3.6億米ドル

対日輸出 4,247万米ドル

(2)我が国からの直接投資3件

3.文化関係

文化人招聘及び派遣、スポーツ交流等の他要請に基づき文化無償協力を行っている。

また1996年より女性団体関係者が交互に訪問する女性交流を実施。

1995年5月にヨルダン週間を本邦にて開催。1996年6月にヨルダンにて日本週間を開催。

また、2004年、日本とヨルダンは外交関係樹立50周年を迎え、ヨルダン各地において20を超える文化・広報事業等を実施したほか、日本でも世田谷美術館で9月から11月までの間、ヨルダン展を実施。

2005年7月、ヨルダン政府を代表しビルタージ国王顧問を迎えて、「愛・地球博」のナショナルデー(7月5日)が成功裏に行われた。

4.在留邦人数	約232人(2005年10月現在)
---------	-------------------

5.在日当該国人数	約180人(2006年7月現在)
-----------	------------------

6.要人往来(1974年以降)

(1)往

年月	要人名
1974年	ハッサン皇太子(外賓)
1976年	フセイン国王(国賓)
1978年	ムハンマド王子
1982年	フセイン国王陛下・アブドゥラー王子(現国王)
1983年	フセイン国王
1987年	マスリ外相
1988年	ハッサン皇太子(公賓)
1989年2月	フセイン国王(大喪の礼)
1989年10月	ヌール王妃
1990年11月	ハッサン皇太子(即位の礼)
1991年 1月	アブドゥラー計画相(外賓)
1991年 9月	ファリーズ計画相
1993年 7月	ハヤ王女
1993年10月	バスマ王女
1993年11月	アブドゥラー王子
1993年12月	マジャーリ首相兼外務相(外賓)
1994年 9月	ハヤ王女
1995年 5月	ハッサン皇太子(公式実務訪問)
1998年10月	アブドゥラー王子(現国王)
1999年 6月	マルトー財務相
1999年12月	アブドゥラー国王王妃両殿下(国賓)
2000年 6月	ハムザ皇太子殿下(小淵前総理合同葬出席)
2001年10月	アブー・ラーキブ首相
2002年 5月	ムアッシャル外相(外賓)
2002年 6月	アブドゥラー国王
2003年 2月	アワダッラー計画相
2003年10月	バスマ王女
2004年 2月	アワダッラー計画・国際協力相
2004年 5月	マジャーリ下院議長
2004年10月	アワダッラー計画・国際協力相 (イラク信託基金東京会合出席)
2004年12月	アブドゥラー国王(実務訪問賓客)
2005年 6月	アリ計画・国際協力相
2005年 7月	ビルタージ国王顧問
2005年12月	アブドゥラー国王(実務訪問賓客)
2006年8月	ハッサン王子(元皇太子)
2006年12月	アブドゥラー国王

(2)来

年月	要人名
1974年	小坂特使
1976年	皇太子同妃両殿下
1980年	三笠宮同妃両殿下
	大来外務大臣
1981年	江崎特使
1985年	安倍外務大臣
1987年	倉成外務大臣
1988年	宇野外務大臣
1990年 8月	中山外務大臣
1990年10月	海部内閣総理大臣
1994年 5月	柿澤外務大臣
1994年10月	武藤特使
1995年 1月	皇太子同妃両殿下
1995年 9月	村山内閣総理大臣
1995年10月	福田外務政務次官
1996年 6月	高円宮同妃両殿下
1996年 8月	池田外務大臣
1999年 1月	高村外務大臣
1999年 2月	皇太子同妃両殿下(フセイン国王の葬儀参列)
	小淵総理大臣(フセイン国王の葬儀参列)
1999年 3月	町村外務政務次官
2001年 8月	杉浦外務副大臣
2001年12月	本岡参議院副議長
2002年 9月	渡部衆議院副議長
2002年11月	茂木外務副大臣
2003年 3月	茂木外務副大臣
2003年 4月	川口外務大臣
2003年 6月	茂木外務副大臣

(2)来

年月	要人名
----	-----

2003年12月	逢沢外務副大臣(総理特使)
2004年 4月	逢沢外務副大臣
2004年 8月	田中外務大臣政務官
2004年10月	谷川外務副大臣
2005年 1月	河井外務大臣政務官
2005年 2月	福島外務大臣政務官
2005年 5月	福島外務大臣政務官
2005年 6月	高円宮妃殿下
2006年 2月	遠山外務大臣政務官
2006年 7月	小泉総理大臣
2006年12月	浅野外務副大臣

7.二国間条約・取極

- 技術協力協定(1985年発効)
- 航空協定(1995年発効)
- 査証手数料相互免除協定(1997年発効)